

科目名	ナレーションⅠ								年度	2025	
英語科目名	Narration Ⅰ								学期	前期	
学科・学年	声優・演劇科 2年次			必／選	選	時間数	60	単位数	2	種別※	実技
担当教員					教員の実務経験			実務経験の職種			
【科目の目的】 様々なジャンルのナレーション原稿を使って、状況に応じた読み方を実践する。											
【科目の概要】 ナレーションやドラマリーディングなどの原稿を用いて、声の表現力を学ぶ。											
【到達目標】 言葉を使って「伝えること」の難しさを知り、さらに自らの課題を見つけ常にチャレンジし続けることを習慣化させる。											
【授業の注意点】 授業態度（特に居眠りや私語）に関してはかなり厳しく対応する。また、連絡のない遅刻・欠席は認めない。 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することはできない。											
評価基準＝ルーブリック											
ルーブリック 評価	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1						
	優れている	よい	ふつう	あと少し	要努力						
到達目標 A	マイク前で良い声で喋ることができる	良い声を作ることができる	大きな声が出せる	腹式呼吸ができる	腹式呼吸ができない						
到達目標 B	マイク前で聞き取りやすい発音で喋れる	聞き取りやすい発音で喋れる	標準語で話すことができる	アクセント辞典を理解して読むことができる	アクセント辞典を読んだことがない						
到達目標 C	誰に何を伝えたいか把握することができる	起承転結を把握することができる	漢字を理解し、台本を最後まで読むことができる	台本を最後まで読むことができる	台本を最後まで読むことができない						
到達目標 D	速度変化、抑揚、強調、間を使うことができる	抑揚をつけ、強調、間を使うことができる	適切な間を取ることができる	大切な言葉を強調して読むことができる	棒読みで喋る						
到達目標 E	タイムコードに合わせて喋ることができる	映像と台本を交互に見ることができる	タイムコードを確認することができる	映像をしっかりと見ることができる	映像を見られない						
【教科書】											

レジュメ・資料は必要に応じて配布。パソコン・タブレット・スマートフォンなどのモバイルツール、参考資料等は授業内で指示する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

小テストおよび期末テストにより採点。授業への積極性と参加態度を評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		ナレーションⅠ			年度	2025
英語表記		Narration Ⅰ			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法 自己評価
1	表現	聞き手を意識する	1人に向かって喋る		大勢ではなく、1人に向けて喋る	
			適切な距離感		遠すぎず近すぎず、適切な距離感で喋る	
			相手の目を見る		聞き手の目を見て喋る	
2	表現	身体を使う	人前に立つ		人前に立って喋る	
			身振り手振りを使う		身体を使い、身振り手振りを交えて喋る	
			大きく動く		身振り手振りを大きくして喋る	
3	発声	マイク前で喋る	立ち位置		マイク前の適切な位置に立つ	
			台本を持つ手の位置		台本をノイズの出ない適切な位置で持つ	
			マイクに向かって喋る		マイクに顔を向けて喋る	
4	映像合わせ	映像に合わせて喋る	映像とタイムコードを見る		映像とタイムコードを確認する	
			時間通りに読み始める		台本に書いてある時間に喋り始める	
			時間通りに読み終わる		次のカットにはみ出さないように読み終わる	
5	滑舌	1文字ずつハッキリ喋る	強く息を吐き出す		息を強めに短い間隔で吐き出す	
			スタッカートができる		強く、短い音を連続で出す	
			腹式呼吸で喋る		腹式呼吸を意識して喋る	
6	滑舌	特殊拍の発音	長音		長音をしっかり伸ばして発音する	
			「っ」		一拍使って「っ」を発音する（間をあける）	
			「ん」		こもった音にならないように「ん」を発音する	
7	リズム感	リズムよく喋る	普段の会話速度を意識		ゆっくりになりすぎないよう、普段の会話速度を意識する	
			早く喋る		少し早めの速度で喋る	
			間をしっかりとる		句点でしっかりポーズをとる	
8	発声	地声～裏声まで使って喋る	普段の声で喋る		普段喋っている声を意識的にトレースして喋る	
			高い声で喋る		頭で響く声を使って喋る	
			低い声で喋る		胸で響く声を使って喋る	
9	発声	キャラクターの声を つくる	キャラをイメージ		絵のキャラクターをイメージする	
			声を変える		そのキャラクターに合った声を考える	
			原稿を読む		そのキャラクターの声で喋る	
10	表現	テレビ番組のナレーション	タイムコードを確認		最初にタイムコードを確認する	
			音楽を聞く		どんな音楽かしっかり確認する	

				テンションをあげる	音楽に合わせたテンションを考える		
11	表現	明るい声を作る		口角を上げる	口角を上げる		
				目尻を下げる	目尻を下げる		
				表情を作って喋る	笑顔を作って喋る		
12	表現	怖い声を作る		眉間に皺を寄せる	眉間に皺を寄せる		
				低い声で喋る	低い声で喋る		
				ゆっくり喋る	ゆっくり喋る		
13	リズム感	音楽とテンポを合わせる		音楽をしっかり聞く	音楽のテンポを意識して聞く		
				音楽に合わせて手拍子する	音楽のテンポに合わせて手拍子をする		
				音楽の速度に合わせて喋る	音楽のテンポに合わせて喋る		
14	表現	意識して間をとる		行間で間をとる	句点でしっかりポーズをとる		
				読点で間を取る	読点で適切なポーズをとる		
				強調するための間	強調したい単語の前でしっかりポーズをとる		
15	表現	強調の表現		強調する単語を探す	文章の中で強調する単語を探す		
				単語を高い声で読む	喋るときに強調したい単語を高い声で喋る		
				単語の前で間をとる	強調したい単語の前でしっかりポーズをとる		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							